

## 保健体育の授業（剣道）における地域の指導者の活用の在り方

学 校 名 喜多方市立山都中学校（福島県）全学年

電 話 番 号 0241(38)2056

全校生徒数 69名（男子33名 女子36名）

種 目 等 武道（剣道）

### 1 研究のねらい

- （1）学習指導要領の改訂に伴い武道が必修となったため、地域の指導者を招聘することで、生徒に剣道の伝統的な行動の仕方や基本動作等を身に付けさせるとともに、技能の向上と安全確保を図る。
- （2）剣道の指導経験の少ない教員が、豊富な指導経験を有する地域の指導者と連携して授業を進めることで、剣道の指導力を高める。

### 2 研究の取組体制

- （1）武道等指導推進委員会を設置し、人材リストを作成して、必要とする学校に情報提供を行うとともに、指導者の効果的な派遣について、検討及び事業成果の検証等を行う。
  - ①構成メンバーは、大学教授、福島県スポーツ指導者協議会、福島県高体連、福島県中体連、福島県体育協会、福島県スポーツ課、福島県健康教育課の各代表とする。
  - ②武道等指導推進委員会 2回（8/10、2/26）、福島県教委主催の派遣指導者研修会 1回（11/19）
- （2）授業が始まる前に、地域の指導者とともに指導計画立案に向けた検討会を3回実施した。授業は体育の指導者とともにを行い、他の教員が授業を参観した。

### 3 研究の概要

#### （1）地域の指導者の協力を得た学習指導の推進

地域の指導者は、地域のスポーツ少年団の指導者であり、中体連等でも審判を務め、学校教育に大変協力的である。数年にわたり本校の生徒を指導していただいているため、生徒の実態を理解しそれに合わせた指導をしていただくことが期待できる。

#### （2）剣道の指導の工夫

- ①地域の指導者に専門的な助言をいただき、学習内容・学習過程・学習目標・自己評価及び反省を一体化させた学習ノートを作成し、授業で活用した。
- ②学習の導入段階で日本剣道形を3～4時間行い、剣道の基本動作や基本的な形を指導した。
- ③班別学習を主体にして、剣道部員をスモールティーチャー（S・T）として、生徒が主体的に活動できるようにした。

## ○児童生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 指導の前に生徒の健康状態について把握するとともに、指導中の体調の変化等に気を配った。
- 2 施設や用具等の安全点検を行い、練習の際には周囲を確認し、竹刀・木刀がぶつからないように十分に間隔をとって練習をさせるなど、練習環境に配慮した。また、生徒の技能に応じた指導を重視した。
- 3 教員と地域の指導者の立つ位置を常に対角にして、生徒の活動を把握できるようにした。

## ○成果と課題

- 1 剣道の具体的かつ専門的な知識に裏付けられた指導により、生徒たちは積極的に学習を進め技能や知識が向上することで達成感を味わうことができた。
- 2 全員が防具を着用でき、地域の指導者とスモールティーチャー（S・T）の細やかな指導で、1年生から3年生まで試合を行うことができた。各学年とも充実感をもって授業を終えることができた。
- 3 降雪期まで授業を実施したので、剣道の実施時期を早めるなど、指導計画を改善する必要がある。

## ○研究内容

【礼儀作法を学ぶ】  
座礼・黙想・立ち方



【木刀での指導】  
日本剣道形の基本を練習



【模範演技】  
指導教員と模範演技



【地域の指導者と剣道経験者】  
剣道経験者との打ち込み練習



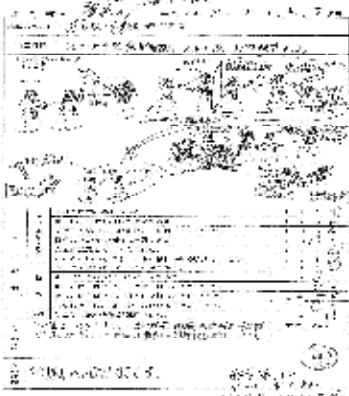
### 授業後のアンケート結果

生徒数

1年 2年 3年 全体  
19名 27名 20名 66名

	1年	2年	3年	全体
剣道の関心意欲はとても高まったか	74%	93%	60%	77.3%
剣道の技能はとても高まったか	74%	85%	75%	67.3%
剣道の伝統的な行動や基本技能がとても身についたか	79%	78%	70%	74.3%
剣道の講師は専門的な技能はとても優れているか	79%	93%	80%	75.4%
剣道の講師の態度はとてもよかった	89%	89%	85%	77.0%
剣道の授業はとても楽しかったか	79%	81%	60%	63.7%

【授業のノート】  
毎時間ノートに記録をとっている



### 【生徒の感想】

- ・初めて剣道をやって、礼儀・技などいろいろわかりました。団体戦では一本とれてうれしかったです。
- ・基礎を覚えることができ、剣道という楽しいスポーツができてよかった。
- ・剣道にあまり関心はなかったのですが、先生に優しく分かりやすく教えていただき、技や礼儀・面白さがわかってきました。
- ・剣道部ではないけれど、技術面では細かく高いレベルまで学び、マナーや心得などもわかり、日本の伝統武芸を学ぶのもいいなと思いました。
- ・分からないことをていねいに教えていただき、剣道に関心を持ち、楽しく授業ができました。教えていただいたことを大切にして、日本の剣道の知識を広げていきたいです。

地域の指導者と保健体育科教員の役割分担を明確にして取組んだ実践例

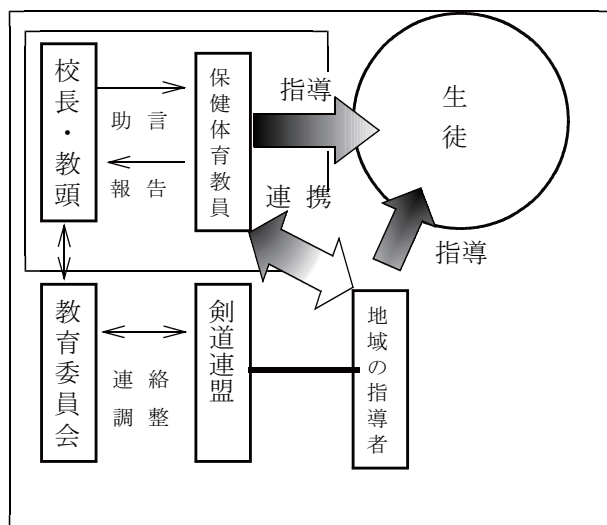
学 校 名 小矢部市立石動中学校(富山県)全学年  
 電 話 番 号 0766(67)1171  
 全 校 生 徒 数 324名 (男子166名 女子158名)  
 種 目 等 武道 (剣道)

1 研究のねらい

地域の指導者と保健体育科教員の連携の在り方

～正しい礼儀作法を身に付け,生徒一人一人が安全で楽しく意欲的に取り組む剣道の学習を目指して～

2 研究の取組体制



(1) 教育委員会と剣道連盟が連絡し合い,地域の指導者を選出した。

(2) 地域の指導者は本校区の方であり,長年地元スポーツ少年団、本校剣道部のスポーツエキスパートを務める。

(3) 授業については事前の打合せを行い,地域の指導者は保健体育科教員を補佐するように関わる。

3 研究の概要

(1) 地域の指導者と連携して授業を行うことにより,専門的な剣道の技術に触れ,段階を踏まえた分かりやすい授業を展開する。

(2) 正しい礼儀作法の定着を図り,「道」を求める真剣さや雰囲気醸成する。

○生徒の安全を確保するため配慮したこと

- 1 剣道競技の危険性を具体例から指導し,基本的な心構えを知らせる。
- 2 正しい防具のつけ方を徹底し,身を守ることの重要性を理解させる。
- 3 礼儀作法の学習を通して,相手を敬うことを学習し,自己の技能の進歩が全体の安全を築くことに気付かせるよう配慮する。

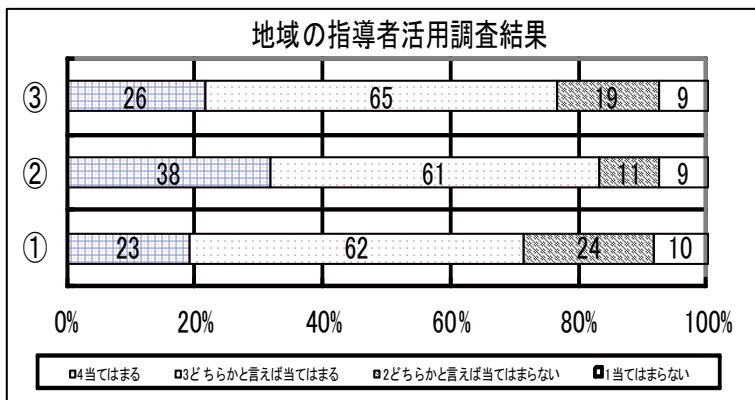
○成果と課題

- 1 地域の指導者との事前の打合せによって,授業のねらいや学習の進め方が明確になった。
- 2 地域の指導者による授業時の生徒への助言等により,生徒にとってより分かりやすい学習展開を図ることができた。
- 3 打合せの時間が取りにくいことが課題としてあげられるが,指導上の悩みや反省点を地域の指導者に質問することができ,保健体育科教員の指導力の向上を図ることができた。

○ 研究内容



生徒アンケートの結果



地域の指導者との授業について1・2年生（119名）にアンケート調査を実施した（結果は左表）。

- ①剣道の学習が楽しかった。
- ②詳しく教えてくださり、分かりやすかった。
- ③来年も指導して欲しい。

多くの生徒が地域指導者とのチームティーチングによる指導の有効性を評価している。

地域指導者に感謝する生徒感想

剣道学習券 2年生

① 1月15日(火)3限 今日の問題 **防具のつけ方**

自己評価 (A B C を記入)   ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

総合評価 (○をつける)   4 ③ 2 1

気づき、反省  
 防具をむすぶ時も、(つけかた) 横結びに 変えてもらって、つけやすくて  
 ちゃんとつくようになった。  
 残された課題  
**声を出す。**

自己評価  
 今回は、ほとんど防具のつけ方を覚えたので、教員さんにつけ方を  
 一から教えてもらって、今まで自分からつけ方をしていたのに  
 気がつき、ちゃんと防具をつけるようになりました!!

2年生生の授業後の感想である。地域の指導者の細やかな指導によって、正しい防具のつけ方を学ぶことができた感想が記述されている。

これにより、生徒の安心感が満たされるとともに、学習意欲の高まりが見られた。指導の分かりやすさが、生徒の学習意欲を高めることができる。

成果と感想

- ・ 保健体育科教員がT1となり全体指導を行う。T2の地域の指導者に大切なポイントを指導していただいたり、一人一人の生徒へ細やかな指導をしていただいたりすることで、生徒は安心して学習することができた。
- ・ 剣道は紐文化と言われるほど紐の結び方ができないと学習が進まない。背面で結ぶこと、きつく結ぶことが不得手な生徒が多い。生徒の実態を捉え、3か年の計画的な指導を心がけねばならない。
- ・ 保健体育科教員が地域の指導者との話し合いをもつことで、内容をより充実させることができる。

## 地域の指導者の協力を得て、教員の指導力を高めた実践例

学 校 名 津山市立津山西中学校（岡山県）  
電 話 番 号 0868(28)0141  
全 校 生 徒 数 523名（男子243名 女子280名）  
種 目 等 武道（剣道）

- 1 研究のねらい  
地域の指導者の技術及び安全における専門的な知識や指導力を活用した授業の在り方を探る。
- 2 研究の取組体制
  - (1) 県教委の武道等指導推進委員会を利用し、安全な授業実施に向けて以下の活動を行った。
    - ① 指導教員は、県教委主催の武道安全管理指導者講習会（剣道）に参加した。
    - ② 地域の指導者は、県教委主催の研修会（事前・事後の2回）に参加した。
    - ③ 生徒に対するアンケート調査を実施した。
  - (2) 地域の指導者と保健体育科教員との連絡協議会を設置した。
    - ① 単元が始まる前に、地域の指導者ととともに指導計画立案に向けた検討会を学校で設けた。
    - ② 単元終了後に、地域の指導者から実施上の成果と課題を確認した。
- 3 研究の概要
  - (1) 地域の指導者の協力を得た学習指導の推進
    - ① 武道等指導推進事業の外部指導者派遣事業に応募し、地域の指導者（剣道連盟から推薦を受けた方）を確保した。
    - ② 地域の指導者の方と打ち合わせを行い、毎時間の流れと内容を確認した。授業については教員が行い、技術的補足と安全面の指導を地域の指導者に依頼した。
  - (2) 授業づくりの工夫
    - ① 特に、技能面のできた、できていないという部分の見るべきポイントを地域の指導者の方にアドバイスをいただき、技能の評価につなげることができた。
    - ② 打ち合わせを行いながら授業を進めることで、前時の様子を見て、次時の授業を計画することができ、生徒の実態に応じて授業計画を立てることができた。
    - ③ 防具の着装を円滑に行うため、着装の仕方の図をグループに渡した。

### ○児童生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 防具の着装をきちんと行わせるため、着装後にグループで点検させた。
- 2 毎回、竹刀を持ったときに竹刀を点検させた。
- 3 特に、面をつけた際に、指導者の声が聞こえにくくなるので、指示を出すときは生徒たちに休めの姿勢をとらせ、話をしっかり聞かせるようにした。

### ○成果と課題

- 1 地域の指導者の方から技能面で、つまづいている生徒へのアドバイスの仕方や見取る視点を教えていただくことができた。
- 2 地域の指導者の方と打合せをしながら進めることで、自信をもって授業に取り組めた。しかしながら、打合せをする時間を確保するのが難しい。
- 3 地域の指導者の方が3年続けて本校の指導に関わってくれているため、連携がスムーズであったが、新しい指導者の方だと更に丁寧な打ち合わせが必要となる。

## ○ 研究内容

### 【入念な準備運動】

竹刀の置き場所に注意した準備運動



### 【地域の指導者の指導風景】

防具の付け方についての丁寧な指導



### 【地域の指導者の模範演技】

日本剣道形の模範演技



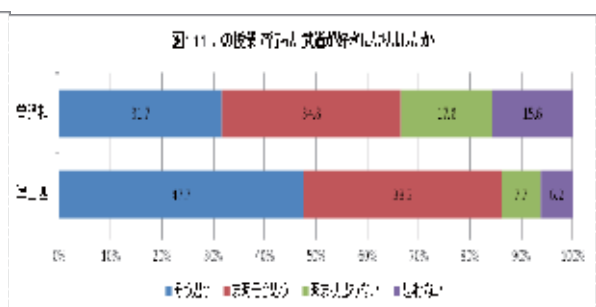
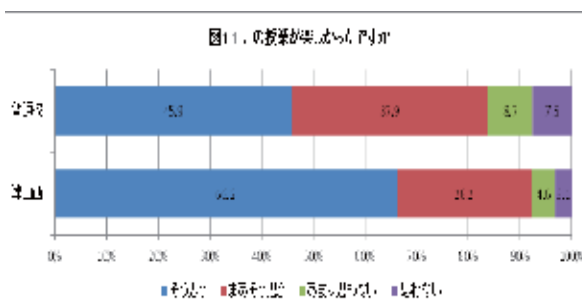
### 【胴紐の結び方、手ぬぐいのつけ方】

ラミネートしてグループに配布



### 【授業に対するアンケート結果】

地域の指導者を導入していない他校生徒と本校生徒の比較



### 【アンケート結果より】

生徒の授業後のアンケート結果

- 上記アンケート結果の他にも剣道授業に対して肯定的な回答が多かった。
- 特に「武道が好きになりましたか」という問いに対する回答に普通校との差が大きかった。
- 「来年度も地域の指導者の方に指導に来てもらいたい」と回答した生徒が80%に達した。

### 【授業を行ってみて】

地域の指導者と作り上げる授業

- 生徒のアンケート結果にもあるように、生徒たちは剣道の時間を非常に楽しみにしていた。やはり専門的な指導が受けられるということと、本物に触れるという部分でも良かった。
- 授業後にアドバイスをもらえたりして、教員が自信をもって剣道の授業に取り組めるようになった。

## 視聴覚機材等を活用し、指導の充実をめざした実践例

学 校 名 大町町立大町中学校（佐賀県）第1学年

電 話 番 号 0952(82)3341

全校生徒数 182名（男子78名 女子104名）

種 目 等 武道（剣道）

- 1 研究のねらい
  - (1) 地域の指導者と連携して、剣道の基礎的・基本的な知識・技能の習得、剣道の伝統的な考え方や行動の仕方を理解し、学んだことを実生活に生かすことのできる生徒を育成する。
  - (2) 自他の健康・安全に留意し、仲間と協力して楽しく、積極的に武道の学習に取り組むことのできる生徒を育成する。
- 2 研究の取組体制
  - (1) 佐賀県武道等指導推進協議会における協議と取組
    - ① 構成メンバーは、大学教授、関係団体、地域の指導者、研究実践校代表、県教育委員会関係者とした。
    - ② 連絡協議会2回（9/21、2/7）において、学習指導要領の趣旨を踏まえた指導内容の在り方及び地域の指導者との連携の在り方について研究協議を行った。
    - ③ 県教育委員会主催の学校体育指導者講習会（剣道）（6/26）に参加し、指導力の向上を図った。
    - ④ 佐賀県教育委員会主催学校体育武道指導者養成・認定講習会（8/21～23、10/16～18）に参加し、段位を取得した。
  - (2) 地域の指導者と保健体育科教員との連絡協議会の設置
    - ① 単元が始まる前に、地域の指導者とともに、指導計画立案に向けた検討会を実施した。（8/29、10/5）
    - ② 次週の指導計画の確認、授業後の評価と次時の指導内容等の確認を毎時間行った。
    - ③ 単元のまとめと次年度に向けての指導計画等の検討を行った。（11/30）
- 3 研究の概要
  - (1) 地域の指導者の協力を得た学習指導の推進  
20年間の少年剣道の指導経験のある地域の指導者を招聘した。長年にわたる少年剣道の指導により、実技指導の経験が豊富であり、本町在住ということもあり、地域との密接な関係がある方で、外部指導者として適任と判断し依頼した。  
実際の授業では、授業の流れ、指示、合図、技能のポイントの説明等を保健体育科教員が行い、地域の指導者は基本動作や基本となる技の示範と巡回指導を行った。
  - (2) 剣道指導の工夫
    - ① 教員が実技講習会で得た内容の「新聞紙切り」、「ボール打ち」などを多く取り入れ、生徒が楽しくグループ活動ができるようにした。
    - ② 地域の指導者の助言をもとに作成した学習カードを毎時間活用した。
    - ③ 剣道具や竹刀に目印をつけることにより、生徒が基本技を練習しやすいように工夫した。
    - ④ これまで技術指導で精一杯だった授業も、地域の指導者と連携することで、余裕をもって指導・評価をすることができた。

## ○児童生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 本校では、朝の会の健康観察で体育の授業を見学する生徒を確認している。また、準備運動時にも班のメンバー同士での体調の確認を行わせた。
- 2 単元が始まる前に、生徒用の面の内側にアイガードを装着するとともに、フロアの傷をマスキングテープで補修した。また、指導者による竹刀の授業前点検を行った。さらに、準備運動前の生徒による竹刀と活動場所の安全点検を行わせた。

## ○成果と課題

- 1 地域の指導者による技術指導、授業の最後での評価や講話を通して、生徒が楽しく知識や技能を身に付けることができた。また、武道の伝統的な考え方や行動の仕方を理解して、実生活の中に生かそうとする生徒が増えた。
- 2 三人一組のグループ学習を取り入れ、安全に楽しく剣道の学習をすすめることができた。今後も地域の指導者と連携して、学習指導要領の趣旨を踏まえた武道指導の在り方を追求していく。

○ 研究内容

【地域の指導者による全体指導】

技の練習前に必ず手本を見せてもらう



【グループ練習での技のチェック】

デジタルカメラ、プロジェクタの使用した



【剣道具・竹刀への工夫】

打突部位と「ものうち」を意識させるテープ・目印



【毎時間の学習カード】

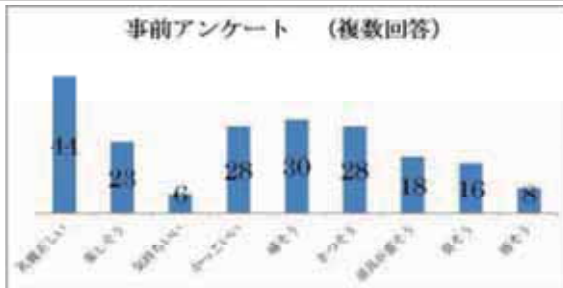
写真を入れ、技のポイントなどを記入させた



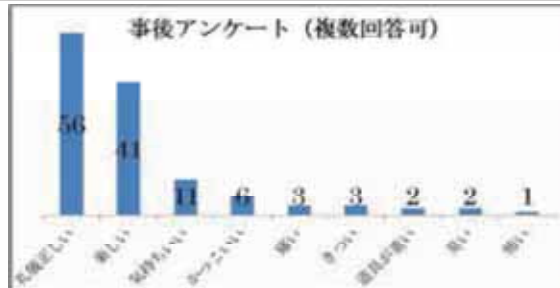
【剣道のイメージに関するアンケート結果】 初めて剣道の授業を経験した1年生（59名対象）

「いろいろな技に挑戦できる」「仲間と楽しく練習や攻防ができる」楽しさを感じている

事前アンケート（複数回答）



事後アンケート（複数回答可）



【生徒の声やアンケートから】

生徒の普段の声、アンケート、学習カードから

事前のアンケートでは、初めて行う剣道に対して好奇心や憧れと不安の両方抱く生徒がほとんどだった。授業をすすめる中で「他の技を早くしたい」「素早く技が出せるようになりたい」などの声があった反面、「小手や足が痛いので嫌だ」などの声もあり、不安や痛みを取り除くために、「小手した」などの着用も検討したい。

【本事業を終えて】

体育科教員の指導力の向上と研究の継続

本事業を終え、地域の指導者との連携を通して、指導法や技のポイント、体さばきなどを改めて学ぶことができた。生徒たちも気軽に質問し、技を習うなど積極的に学習をすすめることができた。地域の指導者を町の予算で確保してもらい、学習指導要領の趣旨を踏まえた武道指導の研究を継続して深めていきたい。



新学習指導要領の趣旨を踏まえた武道(剣道)指導の工夫

大町町立大町中学校

単元名	中学校第1学年及び第2学年(第1学年) 武道(剣道)	
指導内容の概要	学習指導要領の内容	学習指導要領解説の記載内容
⑥内容の取扱い	<p>「F 武道」の(1)の運動については、アからウまでの中から一を選択して履修できるようにすること。なお、地域や学校の実態に応じて、なきたなどのその他の武道についても履修させることができること。また、武道場などの確保が難しい場合は指導方法を工夫して行うとともに、学習段階や個人差を踏まえ、段階的な指導を行うなど安全の確保に十分留意すること。</p>	

第1学年の内容
授業のポイント(生徒への発問や声かけの仕方など)
<p><b>【構え】</b>                      ・竹刀は小指、薬指、中指で握ろう。                      ・左手はへその高さで構えよう。                      ・竹刀の先を相手ののどの高さに向けよう。</p>
<p><b>【足さばき】</b>                      ・両足のつま先が前を向くようにしよう。                      ・かかとを浮かすと動きがスムーズになるよ。</p>
<p><b>【面打ち・小手打ち・胴打ち】</b>                      ・大きな声を出すと両の力が抜けるよ。                      ・左手が中心を通るようにして打ってみよう。</p>
<p><b>【受け方】</b>                      ・剣先はできるだけ相手から外れないよう、リラックスして受けよう。</p>
<p><b>【二段の技(小手一面)】</b>                      ・動きが途切れないように左足の引きつけを早くしよう。</p>
<p><b>【引き技(引き面)】</b>                      ・相手の構えや体勢をくずして打とう。</p>
<p><b>【抜き技(小手抜き面)】</b>                      ・相手の小手打ちを両腕を上げながら体をさばこう。</p>
<p>・技ができる喜びを味わうために、積極的に取り組もう。</p>
<p>・相手を尊重し、練習する場所にも気持ちよさを伝えて礼をしよう。</p>
<p>・練習時間や試合時間を確保するために、自分の役割を果たそう。</p>
<p>・始める前には、必ず竹刀と練習場所の点検をしよう。                      ・中学生は「突き」は禁止。                      ・体調に異常を感じたら運動をやめよう。</p>
<p>・武道はどんなスポーツか。                      ・剣道はどのようにして始まったのかな。                      ・武道を学習することで、これから生活に生かせることはどんなことだろう。</p>
<p>・剣道の技を言ってみよう。                      ・技を身に付けるための技術的なポイントを言ってみよう。</p>
<p>・試合のビデオを見た時を思い出して、試合の仕方や審判の仕方を思い出そう。                      ・剣道にはどんなルールがあるだろう。</p>
<p>・自分の課題にあった練習方法を選ぼう。</p>
<p>・どうしたら、練習や試合がスムーズに進む方法を見つけよう。</p>
<p>運動の技能                      関心・意欲・態度                      知識・理解                      思考・判断</p>

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
<p>○オリエンテーション</p> <p>・歴史や特性について</p> <p>・礼法、竹刀、剣道具の名称及び扱い</p>	<p>剣道具準備・礼法・場と道具の安全確認・準備運動・補強運動など</p> <p>剣道具の装着法</p> <p>○ 相手の動きに応じた基本動作</p> <p>・中段の構え</p> <p>・足さばき</p> <p>・素振り</p> <p>・中段の構え、足さばきの習熟</p> <p>・基本打突と受け方の打ちと受け方</p> <p>・基本打突の習熟</p> <p>・気・剣・体の一致</p> <p>・残心など</p> <p>○ 基本となる技</p> <p>・しかけ技            &lt;一本打ち&gt;            &lt;二段技&gt;小手一面            &lt;引き技&gt;引き面</p> <p>・基本となる技につながる動作</p> <p>・応じ技            &lt;抜き技&gt;            ・小手抜き面</p> <p>・自分で技を選択して課題練習</p> <p>簡易試合まとめ</p> <p>既習の技の自由練習・判定試合</p> <p>整理運動・本字のまとめ・学習ノートの記入・次時の連絡・礼法など</p>												
<p>竹刀の握り方</p>	<p>基本動作</p> <p>構え</p> <p>足さばき</p> <p>正面・小手・胴打ち、受け方</p>		<p>基本となる技と攻防の展開</p> <p>一本打ち &lt;面・小&gt;</p> <p>小手一面</p> <p>小手抜き面</p> <p>引き面</p>						<p>評価</p>			<p>【技能】A:スムーズに</p> <p>①相手の動きに応じて行う中段の構えと足さばきの基本動作ができる。</p> <p>②相手の動きに応じて行う基本打突の仕方と受け方の基本動作ができる。</p> <p>③しかけ技や応じ技の基本となる技を用いて攻防を展開することができる。</p> <p>主に観察による評価部分</p>	
	<p>剣道の学習に積極的に取り組もうとする</p> <p>伝統的な行動の仕方</p> <p>分担した役割を果そうとする</p> <p>健康・安全に気を配ろうとする</p>											<p>評価</p>	<p>【態度】A:常に</p> <p>①剣道の学習に積極的に取り組もうとする。</p> <p>②相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする。</p> <p>③分担した役割を果たそうとする。</p> <p>④突きなどの禁じ技を用いないなど、健康・安全に気を配って学ぼうとする。</p>
<p>特性や伝統的な考え方</p>	<p>名称や動きのポイント</p> <p>試合におけるルール、審判の仕方</p> <p>課題に応じた練習方法を選んでいる</p> <p>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見つけている</p>										<p>評価</p>	<p>【知識】A:一定以上に</p> <p>①特性や成り立ち、伝統的な考え方を言ったり書き出している。</p> <p>②基本動作や基本となる技の名称、動きのポイントを言ったり、書き出したりにしている。</p> <p>③簡単な試合におけるルール、審判の仕方や運営の方法を言ったり、書き出している。</p> <p>主に学習ノート等による評価部分</p> <p>【思考・判断】A:適切に</p> <p>①技を身に付けるための運動の行い方や課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>②仲間と協力する場面で、分担した役割に応じて、協力の仕方を見つけている。</p>	
	①	②	③	④	①	③							
	①		②	③			②	①					

## 地域の指導者との連携による、安全な相撲授業の実践

学 校 名 石狩市立聚富中学校（北海道）全学年

電 話 番 号 0133(61)3171

全校生徒数 23 名（男子 11 名 女子 12 名）

種 目 等 武道（相撲）

- 1 研究のねらい
  - (1) 安全で充実した相撲授業の円滑な実施に向けて、地域の指導者と連携した指導を進めるとともに教員の指導力向上を目指す。
  - (2) 保護者の安心と理解を得るための説明や授業公開等を実施する。
- 2 研究の取組体制
  - (1) 連携体制について  
地域の指導者と保健体育担当教員とが連携して指導計画の作成を行った。
  - (2) 研修の実際  
本校の地域の指導者が講師を務める北海道教育委員会主催の実技講習会に、保健体育担当教員が2回参加した。
- 3 研究の概要
  - (1) 地域の指導者の協力を得た学習指導の推進
    - ①地域の指導者の確保  
北海道教育委員会作成の運動部活動外部指導者人材リストと外部指導者派遣事業を活用し、地域の指導者を確保した。
    - ②地域の指導者による保健体育担当教員への講義・指導  
実技講習会において実技と指導計画に関わる指導を受けたほか、授業前後の打合せの時間において指導方法と安全確保について指導を受けた。
    - ③地域の指導者と保健体育担当教員による指導計画の作成  
保健体育担当教員が指導計画を作成し、地域の指導者が安全な授業を実施するため、より効果的な指導方法等を検討した。
    - ④地域の指導者と連携した生徒への指導の主な内容（保健体育担当教員とのT T）
      - ア 相撲の歴史や精神，所作に含まれる意味と実技（「塵浄水」）
      - イ 基本練習（「四股」「腰割り」「すり足」「押し」）
      - ウ 試合前の所作とその意味について
      - エ 試合審判と講評
  - (2) 保護者の安心・理解を得るための取組
    - ①4月のPTA全体保護者会で相撲授業の概要と目的について説明し，理解を図った。
    - ②単元の終わりに相撲大会を実施し，地域の指導者と連携した授業の様子を保護者に公開した。

### ○児童生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 「相撲のマナー・安全の確認」を実技の教本・配布資料で確認し，毎時間徹底した。
- 2 「四股」「腰割り」「すり足」の基本動作を準備運動に取り入れ，毎時間実施した。
- 3 危険な技や動きを具体的に指導するとともに，受け身の練習を行った。

### ○成果と課題

- 1 地域の指導者の活用により教員の指導力が高まるとともに，生徒に相撲の基礎的な技能を身に付けさせ，安全で充実した授業を実施することができた。
- 2 相撲大会を参観した保護者から高い評価を得たが，より多くの保護者から評価されるよう，内容面の充実や，安全面の配慮について，学校便りなどで保護者に周知する必要がある。

○ 研究内容

【四肢】

股関節の柔軟性や体幹を鍛える



【地域の指導者との連携】

地域の指導者による専門的な指導



【塵浄水】

所作に含まれる意味も含めた学習



【相撲大会】

保護者への公開



【配布資料】

左；相撲の歴史やマナーについて 右；相撲の試合に関わる確認事項について

C. 相撲の歴史...  
 相撲は、古くから行われてきた日本の伝統文化であり、  
 2020年（令和2年）には、ユネスコの世界無形文化遺産に登録された。  
 1. 相撲の歴史...  
 2. 相撲のマナー...  
 3. 相撲のルール...

平成24年度 大相撲緊急高層所について  
 1. 開催日時...  
 2. 開催場所...  
 3. 観戦料...

【成果】

基礎的・基本的な技能の確実な習得

塵浄水の手順、すり足のポイントについて繰り返し学習することにより、生徒は基礎的・基本的な技能を確実に身に付けることができました。また、対人技能として、押しのポイント（脇をしめる、相手の脇に手を入れ、小指が上を向くように手を返す）を明確に伝え、繰り返し練習することにより、技能の習得については一定の成果を得られた。

【地域の指導者の活用について】

地域の指導者の活用による教員の指導力の向上

教員の実技講習会の指導者が地域の指導者となったことにより、講習会で研修した指導のポイントを実際の授業の中で確認することができた。そのため、教員の指導力が向上し、生徒に確実に指導をすることができた。さらに地域の指導者による「心技体」の「心」の部分の指導は説得力があり、生徒に武道の精神面の重要性を伝えることができ

地域の指導者と保健体育担当教員との連携を重視し、女子生徒の意欲を高めた実践例

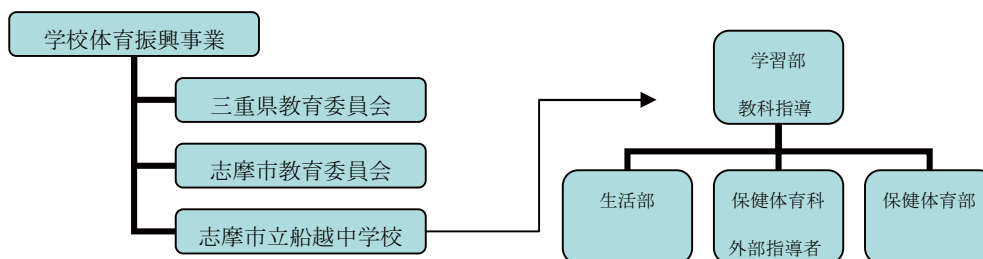
学 校 名 志摩市立船越中学校（三重県）第1・2学年  
電 話 番 号 0599(72)2217  
全 校 生 徒 数 49名（男子25名 女子24名）  
種 目 等 武道（相撲）

1 研究のねらい

- (1) 授業環境の安全確認を重視した武道指導を実践する。
- (2) 地域の指導者と保健体育担当教員との役割分担等を重視した武道指導を実践する。
- (3) 3年間を見通した武道指導を実践する。

2 研究の取組体制

(1) 校内指導体制



(2) 地域の指導者と保健体育科教員との連絡協議会の設置

- ① 地域の指導者とともに指導計画立案に向けた検討会をもち、授業実践に臨む。
- ② 地域の指導者と保健体育科教員の連携により、教員の武道に対する指導力向上を図る。

3 研究の概要

(1) 地域の指導者の協力を得た学習指導の推進

- ① 県教育委員会を通じて志摩市相撲連盟の理事を務めていただいている指導者の方を紹介していただく。本指導者は県の相撲連携の理事も務め、相撲競技における指導者的な立場にある。
- ② 相撲競技の基本（安全確認含む）、技、礼儀等について、専門的な立場から指導していただく。

(2) 相撲の指導の工夫

- ① 教員が実技講習会で習得した内容をいかし、導入は相撲遊びを多く取り入れ、特に女子生徒の相撲に対する心理的ハードルを下げようとした。
- ② 法の意義を説明し、相撲遊びから常に対戦相手との立礼をさせるなど、礼儀の指導に重点を置いた。また、蹲踞や塵浄水については抵抗感のある女子には配慮した。
- ③ 男子には簡易まわし、女子には柔道の帯を使用させることでまわしへの抵抗感を和らげた。
- ④ 最終日には男女別の団体戦を行い、全体で意欲の高まる授業となった。

○児童生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 初年度ということもあり、技能的には「受け身」と「押し」を中心とする指導とした。
- 2 相撲マットを使った対戦時には、その外側にも体操マットを追加した。

○成果と課題

- 1 授業前はかなり抵抗感を示していた女子生徒も、終了時には「楽しく参加できた」としており、取り組み方次第では、男女共に相撲を楽しく学ぶことが可能と思われる。男子は技への習得意欲が総じて高く、次年度へのつながりが期待される。
- 2 今後の授業内容の発展（投げ技等）と、安全確保の両立を考えた計画が必要である。

## ○ 研究内容

### 【スリッパを利用した押し相撲】

押しの練習。受け手はスリッパをはいて滑って行く。



### 【礼法（蹲踞・塵手水）の指導】

男子は全員が練習をした後、団体戦にも取り入れた。



### 【まわしの取り方、切り方】

まわしのつかみ方や、とられた時の切り方を指導。



### 【使用道具】

男子は簡易まわし、女子は柔道着の帯を使用。



### 【武道（相撲）授業における生徒のアンケート結果から】

地域の指導者の方の授業は、多くの生徒にとって有意義であった。対象学年1，2年生（29名）

- ・「地域の指導者の方の指導により、『技能』は高まったか。」という問いに対して、「高まった」「どちらかといえば高まった」と回答した生徒は、全員（29名）であった。
- ・「地域の指導者の方に指導により、授業に取り組む『意欲』は高まったか。」という問いに対して、「高まった」「どちらかといえば高まった」と回答した生徒は、28名であった。
- ・「地域の指導者の方に武道の指導を受けたことに、『満足』していますか。」という問いに対して、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した生徒は、28名であった。

### 【生徒，教師，地域の指導者の声から】

三者にとってかけがえのない機会となった。

- 生徒にとって、地域の指導者を招いての授業は好評だった。
- 教員側からは地域の指導者が入り、安心感があった。
- 地域の指導者からは、何日間か連続して授業を行うことがよいという感想をいただいた。事前の打ち合わせも入念に行ったので地域の指導者にとっても安心感があつ

### 【生徒の感想から】

今回の授業で、相撲に興味を持つ生徒が増えたと思われる。

- 今まで、あまり相撲に興味はなかったけど、意外と楽しかったです。ありがとうございました。
- 短期間だけど、相撲の楽しさがわかりました。テレビで見ても意味がわからなかったけど、よくわかりました。
- 投げ技や受け身を教えてもらったりして、おもしろかったし、ためになりました。

地域の指導者による専門的な授業実践により、  
生徒の学習意欲と技能の向上を図った実践例

学 校 名 会津若松市立第二中学校（福島県）第1学年  
電 話 番 号 0242 (27) 0715  
全 校 生 徒 数 404 名（男子 212 名 女子 192 名）  
種 目 等 武道（なぎなた）

1 研究のねらい

- (1) 学習指導要領の改訂に伴い武道が必修となったため、地域の優秀な外部スポーツ人材を、武道授業の指導者として招聘することで、生徒に武道の伝統的な行動の仕方や基本動作等を身に付けさせるとともに、技能の向上と安全の確保を図る。
- (2) 武道の指導経験が浅い教員が、豊富な指導経験を有する地域の指導者と連携して授業を進めることで、武道の指導力を高める。

2 研究の取組体制

- (1) 武道等指導推進委員会を設置し、人材リストを作成して必要とする学校に情報提供を行うとともに、指導者の効果的な派遣について、検討及び事業成果の検証等を行う。
  - ①構成メンバーは、大学教授、福島県スポーツ指導者協議会、福島県高体連、福島県中体連、福島県体育協会、福島県スポーツ課、福島県健康教育課の代表とする。
  - ②武道等指導推進委員会 2回（8/10、2/26）、福島県教委会主催の派遣指導者研修会 1回（11/19）。
- (2) 会津なぎなた連盟と学校関係者による授業実践委員会を設置し、事前の諸準備や授業案の検討、事後の検証等を行う。
  - ①地元連盟関係者と本校校長、教頭、保健体育科教員での事前協議会を実施する（対象学年・実施時期・内容・準備物等）。
  - ②地元連盟主催による指導者研修会へ保健体育教員が参加する。
  - ③地域の指導者との事前打合せ、授業実施後の反省及び次時の確認を行う。

3 研究の概要

- (1) 地域の指導者の協力を得た学習指導の推進  
地元組織である会津なぎなた連盟に指導者の派遣を依頼し、大変優れた指導者を招聘することができた。その方については地元はもとより、全日本連盟の役員として国内外で活躍されている日本でも指折りの指導者である。
- (2) 地域の指導者と保健体育科教員のすみ分け  
保健体育科教員は、指導者の助言を十分に理解していない生徒への個別支援や指導、用器具の配付や安全への配慮を担った。

## ○児童生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 オリエンテーションについては、冬期間の実施であることを考慮して多目的スペースで実施し、健康・安全と学習意欲の喚起に配慮した。
- 2 授業開始前に必要ななぎなたを10本ずつまとめて間隔を空けて配し、なぎなたの収受や返却の際の事故防止に配慮した。

## ○成果と課題

- 1 生徒は日本固有の文化である武道にふれ、学校生活や家庭生活でも具体的な指導が見られなくなっている礼法について具体的に教えていただき、その所作を興味深く意欲的に習得することができた。
- 2 地域の指導者の指導力により、男子生徒もなぎなたの特性に触れ、秩序と規律を守りながら積極的に活動できた。日常生活の中ではあれだけの長さの棒を振り回すことはなく、ややもすると大変危険な状況も考えられたが、棒ではなく刀としての意識を個々に持たせ、相手を尊重する武士道精神を醸成することができたと考える。
- 3 なぎなたの技能習得方法や集団行動の基本の必要性を分かりやすく指導・助言いただいた。
- 4 地域の指導者が本県なぎなたの草分け的存在で、本校卒業生の活躍やトップアスリートの心構えなど中学生として、人としてあるべき姿を示していただくことができた。
- 5 授業を実施するにあたって、単位時間の生徒数と活動場所の確保を事前により細かく調整し、学習内容の定着のための環境づくりを行わなければならない。

## ○ 研究内容

**【オリエンテーションの様子】**  
正座をし、姿勢を正した状態で説明に聞き入る。



**【気剣体の一致による技の習得】**  
八相の構えからの側面打ち。そして連続技。



**【一人一人に準備されたなぎなた】**  
会津なぎなた連盟から60本を借用しての授業の展開



**【充実した授業の展開】**  
会津人としての誇りと武士道の継承のために、大変有意義な授業の展開となった

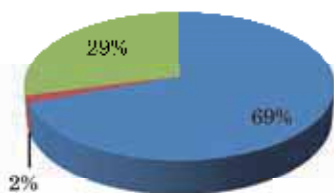
- \* 生徒は男女を問わず大変意欲的に活動することができた。冬期間の単元設定になってしまったために、裸足での活動がどの程度生徒に受け入れられるか不安もあったが、なぎなた（武道）の特性を理解して取り組む姿勢は大変好感が持てた。
- \* 地域の指導者の卓越した指導力により、なぎなたを通して人としてあるべき姿や望ましい人間像を提示していただき、習得した学習内容が普段の生活に還元できるものであったと思う。
- \* 本校は会津白虎隊として知られる鶴ヶ城に大変近く、武道の継承に相応しい環境と言えるだろう。来年度以降も武道の選択種目として「なぎなた」を採用し、生徒にとって有意義な授業を展開していきたい。

**【単元終了後の生徒のアンケート調査結果】**  
武道（なぎなた）への興味・関心、技能についての意識調査より

**【単元終了後の生徒のアンケート調査結果】**  
伝統的な行動や基本動作についての意識調査より

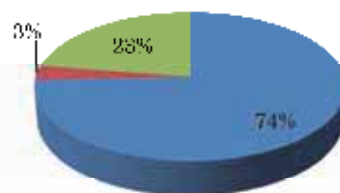
【質問1】 武道に対する関心・意欲は高まったか？

■ 高まった ■ 高まらない ■ どちらとも



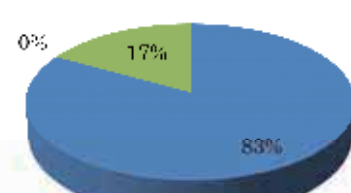
【質問2】 武道の技術は上がったか？

■ 上がった ■ 上がらない ■ どちらとも



【質問3】 伝統的な行動や基本動作が身に付いたか？

■ 付いた ■ 付かない ■ どちらとも





## 地域の伝統芸能である民踊を効果的に取り入れたダンス授業の実践例

学 校 名 嬉野市立嬉野中学校（佐賀県）第2学年

電 話 番 号 0954(43)0244

全校生徒数 421名（男子196名 女子225名）

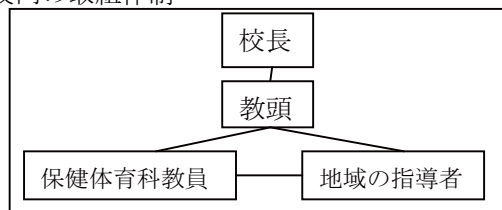
種 目 等 ダンス（フォークダンス）

### 1 研究のねらい

本校は昨年度、柔道で地域の指導者と連携した柔道の授業のあり方を研究した。今年度は、ダンスの授業で地域の指導者と連携し、効果的なダンス指導の工夫を図る。

### 2 研究の取組体制

#### (1) 校内の取組体制



4月	年間指導計画の見直しと作成
6月	地域の指導者の選定・依頼
9～11月	地域の指導者との打ち合わせ
10月	先進校視察・指導方法の改善
11月	授業実践・授業研究発表会
12月	研究のまとめ

#### (2) 地域の指導者と保健体育科教員との連携

単元が始まる前に、地域の指導者とともに指導計画立案に向けた検討会を3回ほど行った。

民踊の指導では、地域の民踊「茶山猿おどり」を学習させることで郷土愛の心も育みたいと考え、毎時間、授業前と授業後に打ち合わせを行った。

### 3 研究の概要

#### (1) 地域の指導者の協力を得た学習指導の推進

嬉野町内にリズムダンスや民踊を教えておられる豊踊会があり、その教室に通っている本校生徒も数名いる。本校の取り組みの趣旨を説明し協力依頼をしたところ、快く引き受けていただいた。指導の役割については、地域の指導者がリズムダンスや民踊の基本のステップ、動きの指導を行い、全体的な授業の組み立てや学習の進め方、創作の仕方などを保健体育科教員が指導し、分担しながら学習指導にあたった。

#### (2) ダンスの指導の工夫

- ① 地域の指導者が専門としている民踊を学習することで、踊りの由来や小道具の使い方、手や足の動きなど、専門的な指導が可能となった。
- ② 地域の指導者が稽古で使われている本物の小道具や着物を教材として使った。
- ③ 地域の指導者による民踊の基本の動きの写真を壁資料の教材として使った。

## ○児童生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 踊っていて窮屈だったり、人に当たりそうになったり、ハッとするようなことはないか、人と場の確認をして安全に活動するよう指導し、活動の場を設定した。
- 2 踊る前には十分なウォーミングアップを行い、自分の健康状態を把握するよう指導した。

## ○成果と課題

地域の指導者との連携により、生徒のダンスに関する意識や意欲、関心が高まり、踊る楽しさや喜びを味わわせることができた。また、生徒の民踊に関する専門的な知識が高まり、踊りの歴史的な背景や由来、一つ一つの動きの意味などを理解して踊ることができ、リズムダンスや民踊の基礎基本となる動きなどを含め、表現力の高まりが見られた。今後の課題は、地域の指導者との連携を他学年でも行うことで、より充実したダンスの授業が展開できるものと考えられる。

## ○研究内容

### 【地域指導者による民踊の指導】

民踊の由来や小道具について説明する。



### 【民踊の基本の動き】

手の動きの「山開き」を習っている。



### 【衣装を着けて表現】

グループ別に衣装を着けてなりきって踊っている。



### 【課題解決のための壁資料】

生徒が活動で困ったときに参考にさせた資料の一部。



### 【授業終了後の生徒アンケート結果】

授業を終えてのアンケートより。

	とても楽しかった	積極的に取り組んだ	教え合い学習ができた	民踊のイメージがよくなった	地域指導者はよかった
現代的なリズムダンス	94%	94%	89%	100%	100%
民 踊	91%				

授業を始める前からダンスには興味・関心の高い集団だったが、積極的に学習に取り組み、生徒同士で教え合う学習もできた。また、地域の指導者の専門的な指導は十分意義があった。さらに、民踊に取り組む前のイメージは「ゆっくりした感じ」とか「難しそう」、「できるか不安」であったが、結果は民踊に対するイメージも良くなり、明るくやりがいのあるものに変化していた。

### 【授業を終えての生徒の感想】

学習ノートより。

- ・2年生で初めて取り組んだ民踊の良さを授業で一気を感じる事ができた。人と踊り合うことの大切さ、見て発表し合うことの楽しさ、そして、それぞれのダンスの特徴をつかみ、踊ることができ感動することができた。
- ・日本にはいい伝統が受け継がれている。みんなで教え合い、踊ることは楽しい。ダンスも心も成長した気がする。

### 【地域の指導者と連携したダンス指導の成果】

学習ノートのまとめより。

授業を終えて「ダンスの魅力とは一言で」の問いに「たくさんの人を笑顔にできる」「人に元気を与える」「自分の気持ちや言葉では言いにくい事を体で表現できる」「踊った後に心が解放されるもの」とあった。事業を終えて、生徒一人一人のダンス学習が充実したものになったのではないかと思う。今後も効果的な指導法を工夫改善していきたい。

【ダンスの単元計画】

新学習指導要領に対応した単元計画の構造図

壺野市立壺野中学校

①単元名	中学校第2学年 ダンス(フォークダンス・現代的なリズムのダンス)		第2学年の内容
②指導内容の概要	③学習指導要領の内容	④学習指導要領解説の記載内容(第1学年及び2学年)	
<p>感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージを通じた表現や踊りを通して交流ができるようにする。また、ダンスの学習に積極的に取り組み、仲間のよさを認め合うことなどに意欲をもち、健康や安全に気を配るとともに、ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>(1) 次の運動について、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージを通じた表現や踊りを通して交流ができるようにする。 イ フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ること。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化とまわりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。</p>	<p>⑤授業のポイント(生徒への発問や声かけの仕方など)</p> <p>【リズムに乗って全身で踊る】 ・ダウンは猫背になる感じで、グッとおなかを曲げよう。 ・アップは肩胛骨と腰の部分をくっつける感じで踊るよ。 ・ヒップホップの縦のりは、体を上下に動かして大きくリズムをとるよ。</p> <p>【動きに変化を付ける】 ・手拍子・足拍子、歩く・走る・回る・ジャンプ、振る・曲げる・ねじるなどの動きも取り入れてみよう。 ・動きを組み合わせながら、倍速で素早く動いたり、スローやストップモーションを入れて動くといいね。</p> <p>【踊り方の特徴をとらえる】 ・踊りの歴史や由来を感じながら足や手を動かそう。 ・民謡の特徴的な手や足の基本となる動きをつまもう。 ・壺野の地域を代表する温泉や茶摘みの動作を意識してイメージしながら動くといいよ。</p> <p>【音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊る】 ・猿になったつもりでどき跳ねながら動くよ。 ・湯煙は手の平を交互に返しながらかくよ。</p> <p>・仲間のよいアイデアやよい動きを積極的に見つめよう。 ・誰でも踊って交流してみよう。</p> <p>・分担した役割に積極的に取り組みよう。</p> <p>・友達と積極的に交流して運動しよう。 ・仲間の動きにアドバイスしたり、一緒に動いて課題を解決したりしよう。</p> <p>・自分や仲間の体調に気を配り、安全に運動しよう。 ・壁や人の多いところではなく、スペースのあるところで活動しよう。 ・衣装や小道具は、安全に気を付けて丁寧に扱おう。</p>	
<p>(2) ダンスに積極的に取り組むとともに、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>	<p>(2) ダンスに積極的に取り組むとともに、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>	<p>「よさを認め合おうとすること」とは、仲間のよいアイデアや表現に声をかけるなど、互いの個性や表現を認め合って、だれとも踊りに楽しく取り組めるようにすることを示している。そのため、仲間や他のグループの発想や動きのよさに声をかけるなど、お互いに認め合って学習することで、お互いの運動意欲が高まることを理解し、取り組めるようになる。</p> <p>「自己の責任を果たそうとすること」とは、練習などを行う際に、音響や小道具などの用具の準備や後片付けなどの分担した役割に積極的に取り組もうとすることを示している。そのため、分担した役割を果たすことは、練習や発表会を円滑に進めることにつながることで、社会生活を過ごす上で必要な責任感を育てることにつながることを理解し、取り組めるようになる。</p> <p>「～など」の例には、仲間の学習を援助しようとすることがある。これは、練習の際に、仲間の動きの手助けをしたり、学習課題の解決に向けて仲間に助言したりしようとするなどを示している。そのため、仲間の学習を援助することは、自己の能力を高めたり、仲間との連帯感を高めたり活動することにつながることを理解し、取り組めるようになる。</p> <p>「健康・安全に気を配る」とは、体調の変化などに気を配ること、用具や練習場所などの自己や仲間の安全に留意することが大切であることを示している。そのため、体調に異常を感じたら運動を中止することや、踊る際の音響設備の置き方や、小道具の扱い方やけがの事例を理解し、取り組めるようになる。</p>	
<p>(3) ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>知識</p> <p>「ダンスの特性」では、ダンスは、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージをとらえて自己を表現することに楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること、他者とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する身体表現であることを理解できるようにする。また現在では様々なダンスが世代を超えて世界の人々に親しまれていることを理解できるようにする。</p> <p>「踊りの由来」では、踊りは、民族ごとの生活習慣や心情が反映されていることや、様々な文化の影響を受け発展してきたことなどを理解できるようにする。</p> <p>「表現の仕方」では、表したイメージをひと流れの動きに表現する、伝えられてきた踊りの特徴をとらえて踊る、軽快なリズムに乗って全身で弾みながら自由に踊るなどの身体を使った表現の仕方があることを理解できるようにする。</p> <p>「関連して高まる体力」では、ダンスはリズムカールな全身運動であることから、その動きに関連した体力が高まることを理解できるようにする。例えば、ダンスを継続することで、柔軟性、平衡性、筋持久力などがその動きに関連して高められることを理解できるようにする。</p> <p>思考・判断</p> <p>「課題に応じた運動の取り組み方を工夫する」とは、活動の仕方、組み合わせ方、安全上の留意点などの学習した内容を、学習場面に適用したり、応用したりすることを示している。</p> <p>〈例示〉 ・自分の興味や関心にあったテーマや踊りを設定すること。 ・課題に応じた練習方法を選ぶこと。 ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘すること。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめること。</p>	<p>ダンスの特性って何だろう? →仲間と一緒に感じを込めて踊ったり、イメージをとらえて自分らしく踊れると楽しい。仲間と協力して表現ができることも嬉しい。 ダンスはいつ頃から、どんな時に、どのような人達が踊ってきたのだろうか? →人類が誕生した時から、歴史や文化とともに生活の中で、世代を超えたたくさんの人々が踊ってきた。</p> <p>なぜ、民族や地域によって、様々な踊りがあるだろうか? →歴史や風土の違いや生活習慣、心情などが踊りや動きの中に入っていて、様々な文化の影響を受けて発展してきたから。</p> <p>表現の仕方にはどんなものがあるか? →イメージやテーマを感じて表現する。民謡のように踊りの特徴をとらえて踊る。リズムに乗って全身で踊るなどの表現の仕方がある。</p> <p>ダンスで特に高められる体力にはどのようなものがあるだろうか? →柔軟性、平衡性、筋持久力など。</p> <p>興味や関心を持ったテーマや踊りを考えてみよう。→今興味のあること、曲のイメージから感じること、自分の身近なこと、心の中にある思いなど。</p> <p>自分の課題やグループの課題はわかったかな? →一人で困っているときは仲間に相談したり、グループで話し合ったりしてみる。その課題の練習方法を探してみよう。→カウントを取りながら踊る、イメージを踊りにする、空間や隊形を変える。</p> <p>交流会や発表会では、仲間やグループのよい動きや表現を発見できるかな? →発見できたら、それを言葉で伝える。温かい言葉で伝える。</p> <p>安全に学習するには、どんなことに注意すればよいか? →ハットで危なかったこと(人・環境)、滑って倒れたこと(人・環境)、小道具が壊れそうになったり、人に当たりそうになったこと(物)など。</p>	
<p>内容の取扱い</p>	<p>「Gダンス」の(1)の運動については、アからウまでの中から選択して履修できるようにすること。なお、地域や学校の実態に応じて、その他のダンスについても履修させることができること。</p>		



**地域の指導者と連携して授業を行った  
ことで、教員の指導力を高め、生徒に  
踊る楽しさを味わわせた実践例**

学 校 名 富山市立藤ノ木中学校(富山県)第2学年  
電 話 番 号 076(493)1570  
全 校 生 徒 数 398名(男子195名 女子203名)  
種 目 等 ダンス(現代的なリズムのダンス)

1 研究のねらい

新学習指導要領の施行に伴い、ダンスの必修化から、これまで指導経験が少なかった男性教員の指導力を高める研修や研究が必要である。また、ダンス単元では、恥ずかしさや体を使って表現することの難しさから、踊る楽しさや喜びを味わうことができず、積極的に授業に取り組みない生徒もいる。そこで今回は地域の指導者の協力を得て、男女共習によるダンスの授業での導入の工夫や、男性教員の指導力向上、生徒の興味・関心の引き出し方をねらいとし授業を展開した。

2 研究の取組体制

- (1) 教員と生徒がともに学習しやすいように、現代的なリズムのダンスが指導できる指導者を、教育委員会の人材バンクを活用して派遣依頼した。
- (2) ダンス単元が始まる前に、地域の指導者と保健体育男性教員が、指導計画・授業内容や、生徒に持たせる学習カードの内容について協議・検討を行った。

3 研究の概要

(1) ダンスの指導の工夫

- ① 授業は、単元の導入の3時間を地域の指導者の支援のもとで、基本ステップの体験、隊形移動や表現方法の紹介、発表会という流れで行い、その後の授業展開に見通しをもたせた。
- ② 恥ずかしさを感じさせないように、表現することよりも比較的簡単なステップをスポーツ的に踊る指導をした。また、男女共習で発表会を行い、様々な発想を見て学ぶ機会とした。
- ③ 授業実践や地域の指導者の助言をもとに、表現技法や表現するためのヒントを生徒の目に入る場所に掲示し、また、生徒から出た新しい発想をその掲示物に書き込んでいった。
- ④ 率先して地域の指導者の真似をして男性教員が積極的に楽しく踊り、雰囲気を盛り上げた。

**○児童生徒の安全を確保するため配慮(工夫)**

準備運動からダンスを意識したストレッチ運動やバランスをとる運動を取り入れることで、安全面での配慮をするとともに、いつもとは違う新鮮な気持ちで授業に臨ませた。

**○成果と課題**

- 1 地域の指導者の指導は体を動かしながらの説明が多く、生徒もまず体を動かしてみるといった姿勢で授業に取り組むことができた。
- 2 最初に比較的簡単なステップを基本動作として学んだことで、多くの生徒が踊ることが「できる」という楽しさや喜びを味わうことができた。また、男女共習により、男子の力強さや女子のしなやかさなど、お互いの違いを理解することができた。
- 3 作品づくりのヒントを掲示したことで、発想の幅を広げることができた。
- 4 教員が楽しそうに踊ることで、生徒の動きや表情が良くなることを肌で感じる事ができた。
- 5 今後、ダンスの授業を進めていく上で、動きが途切れて意欲のない活動になる心配もある。生徒が主体的に活動できるよう、「各学年毎の指導内容や課題を明確にする」「学習カードや教材を工夫し、視覚に訴えイメージしやすい場づくりをする」「何を評価するのかを明確にする」等の研修や研究が必要である。

## ○成果と課題

### 【準備運動】

バランスをとる運動をしている。



### 【基本ステップ】

基本ステップの全体指導で、教員が生徒の前で踊っている。



### 【作品づくりのヒント】

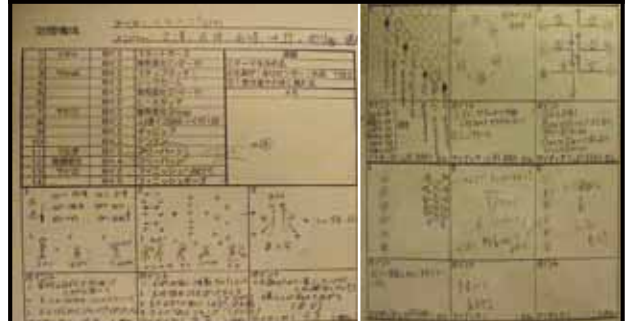
ヒントを参考に作品づくりを進めている。



エアロ創作ヒップホップ?	
踊る	踊る
左右対称(シンメトリー)	
左右非対称(アシンメトリー)	
リズムを変える(速く、ゆっくり、止まる)	
隊形が文字メッセージに	
層々ように	
床の高さも意識(床の凹凸?)	
円や四角が大きな形の小パーツ	
前へ進め(反方向)	
なにと...	

### 【学習カード】

学習カードで振り付けや隊形の確認をしている。



### 【実践のまとめ】

アンケート結果を含む。

アンケート結果によると、ダンスに関して恥ずかしい、興味がないと思っていた生徒の多くが、今回の授業を通して楽しかった、またやってみたいという気持ちをもつようになった。その理由として、「思っていたよりも踊ることができた」「仲間と活動するのが楽しかった」等があげられていた。また、「今まで交流の少なかった仲間とよく話しをするようになった」という意見もあり、技能よりも、互いを認め合い積極的に仲間と関わろうとする意欲の向上が感じられる活動となった。

ダンスの必修化に伴い、ダンスの指導経験の少ない教員にとっては、何を教えたらよいのかと悩むことも多いのではないと思われる。今回の実践を通し、技能ばかりでなく関心・意欲・態度や思考・判断といった観点の指導を重点的に行うことで、生徒にダンスの楽しさや喜びを味わわせ、互いを認め合い協力する態度を身に付けさせることができると自信がもてた。

地域の指導者との連携は、単に専門的な知識を教えていただくだけでなく、生徒に新鮮な気持ちをもたせたり、教員が新しい発見をしたり、多面的な効果が期待できる取り組みである。

## 地域の指導者と連携し、生徒の興味・関心を高めた実践例

学 校 名 吉野ヶ里町立東脊振中学校（佐賀県）第3学年

電 話 番 号 0952(52)2529

全 校 生 徒 数 216名（男子124名 女子92名）

種 目 名 ダンス（現代的なリズムのダンス）

### 1 研究のねらい

- （1）専門性の高い地域の指導者を活用した効果的なダンス指導の在り方を探る。
- （2）専門の地域の指導者と連携することにより、教員の指導力を向上させ、授業内容の充実を図る。

### 2 研究の取組体制

#### （1）佐賀県武道等指導推進協議会における協議

- ①構成メンバーは、東京女子体育大教授、佐賀大准教授、佐賀県教育委員会、各競技団体代表等。
- ②協議会2回（9/21、2/7）において、学習指導要領の趣旨を踏まえた指導内容の在り方及び地域の指導者との連携の在り方について研究協議を行った。

#### （2）地域の指導者と保健体育科教員との連絡会の実施

- ①地域の指導者ととも指導計画立案に向けた事前の検討会を3回実施した。
- ②毎回、授業の前後に、指導内容等について検討会を行った。

#### （3）ダンス指導授業研究会にむけた校内支援体制の整備

地域の指導者への依頼・連絡・調整については、保健体育科教諭が担当した。授業においては、事前に地域の指導者と担当教員と役割分担し、連携・確認をとりながら、指導者3人によるTTを行いながら研究を重ねた。また、教頭を窓口にした校内支援体制を整備し、「ダンス指導授業研究会」を開催し、研究を深めた。

### 3 研究の概要

#### （1）地域の指導者の協力を得た学習指導の推進

男子生徒の積極的な活動を引き出したいという担当教員のねらいから、適任の男性の地域の指導者と連携して授業を行った。この地域の指導者は、ダンスの専門学校を卒業し、ダンサーとして活躍した経験もあり、プロのダンスインストラクターとして多数のクラスを担当している人物である。

授業においては、男女問わず、地域の指導者には技術指導やダンスの模範演技を依頼することにより、生徒の興味・関心を高めながらダンス指導を行った。

#### （2）学習内容の指導の工夫

- ①地域の指導者の助言のもとに構成した振付を習得させ、生徒の興味・関心を高める。
- ②作品を仕上げ、文化発表会で発表するというゴールに向かい、より完成度の高い作品づくりを行う。

## ○児童生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

毎時間、十分なストレッチ活動を取り入れ、その時の体調の様子について気づかせ、怪我の予防を行った。また、大変暑い時期に行ったため、必要に応じて給水をさせた。

## ○成果と課題

- 1 地域の指導者と連携した、3人の指導体制により生徒たちの興味・関心や活動力が高まり、さらには、技能向上につながることで、達成感を味わわせることができた。
- 2 体育大会でのダンス、体育授業でのダンス授業、文化祭でのダンス発表という流れで、体育授業のみならず学校行事（特別活動）と関連した取り組みができ、生徒の活動意欲の高揚を図ることができた。
- 3 地域の指導者を確保する場合、安定して確保ができるような人材バンクの整備等が課題である。

## ○研究内容

### 【地域の指導者からのアドバイスの様子】

グループ活動に入りアドバイス。



### 【ステージ上で地域の指導者が見本を示す様子】

生徒の動きの鏡となる地域の指導者の模範演技。



### 【ダンサーネームを記したゼッケン】

ダンスモードに名前も心も切り替える。



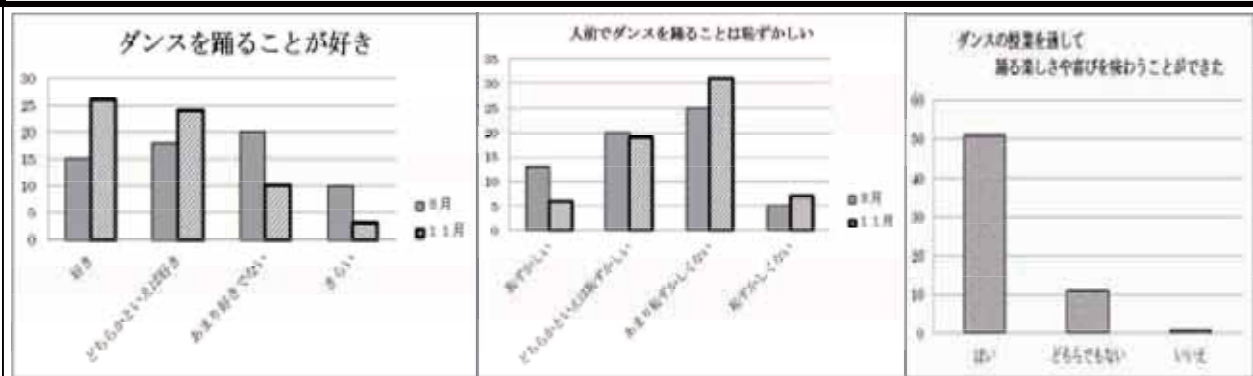
### 【ハンズフリー拡声器】

両手が自由に使えるためいつでも示範を行うことができる。



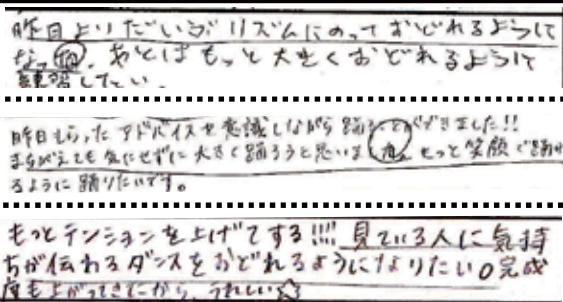
### 【ダンスの授業アンケート結果】

ダンスの授業を通して踊る楽しさや喜びを味わうことができたと感じた生徒が8割以上いた。



### 【ダンスの学習ノート】

生徒自身の達成感が表れた自己評価。



### 【文化発表会で発表する様子】

全校生徒、保護者の前での生き生きとしたダンス披露。

